

プログラム

テーマ：「Exploring A Unified View Beyond Complexity」

2018年2月15日（木）

10：00 開場 会場設営

10：30 お茶・コーヒー

11：00～12：30

第一部 社会現象と複雑生態システム

座長：大野照文（三重県総合博物館）

村瀬雅俊（京都大学基礎物理学研究所）「未来創成学 大統一理論への挑戦」

Tae-Soo Chon（韓国国立大学）「生態学序説Ⅰ」

井内田科子（京都大学医学研究科）

「パンデミックインフルエンザは予防できるかーパンデミック（H1N1）2009 ウイルス
伝播と流行ダイナミクスに関する検討」

12：30～13：30 昼食（60分）

13：30～15：00

第二部 人間現象の心理・精神学、生命現象、生態系

座長：肥田野登（東京工業大学）「拡張自己概念の展開」

Remo Job（トレント大学心理学部）「非線形過程としての学習」

藤井紀子（京都大学原子炉実験所）「生物界の右左」

Tae-Soo Chon（韓国国立大学）「生態学序説Ⅱ」

15：00～15：30 休憩（30分）

15：30～16：30

第三部 生命現象と宇宙の不思議

座長：吉村一良（京都大学大学院理学研究科・化学専攻）

石原幸一（東洋医学）「東洋の目」

Antonio De Fliche（京都大学基礎物理学研究所）「均一単純な塵からの複雑な銀河形成」

16:30～16:40 休憩（10分）

16 : 40～17 : 40

第四部 生物環境適応の複雑性

座長 : Tae-Soo Chon (韓国国立大学)

村瀬偉紀 (長崎大学大学院・環境科学)

「両側回遊魚アユにみられる生活史形質の時空間的変異」

入江貴博 (東京大学大気海洋研究所) 「海産無脊椎動物に見られる生活史適応の複雑性」

18 : 00～20 : 00

レセプション

ゲスト : 森 悠子 (音楽監督)、石上真由子 (バイオリニスト)

2018年2月16日（金）

9：30 会場、お茶・コーヒー 設置

10：00～11：30

第五部 進化と学習

座長：Remo Job （トレント大学心理学部）

前崎信也（京都女子大学）「創造の過程とその結果に対する一考察
—工芸制作における協働とすりあわせ—」

肥田野登（東京工業大学）「拡張自己概念の展開」

Tae-Soo Chon（韓国国立大学）「生態学序説Ⅲ」

11：30～13：00 昼食 （90分）

13：00～14：30

第六部 環境と社会

座長：阿部健一（総合地球環境学研究所）

大野照文（三重県総合博物館）「学校教育とところの進化」

迫田さやか（同志社大学経済学部）

「あえて家族のケアを行う者についての医療経済学的課題—1型糖尿病を例として—」

村瀬智子（日本赤十字豊田看護大学）「精神環境看護学」

Tae-Soo Chon（韓国国立大学）「生態学序説Ⅳ」

14：30～15：00 休憩 （30分）

15：00～16：00

自由討論

座長：村瀬雅俊（京都大学基礎物理学研究所）

ショートプレゼンテーション

嶋田ありさ（京都大学理学研究科）

16：00 終了

17：00 閉場

主催：京都大学研究連携基盤・未来創成学国際研究ユニット

共催：京都大学・基礎物理学研究所

共催：京都大学・統合複雑系科学国際研究ユニット

共催：京都大学・学際融合教育研究推進センター

共催：総合地球環境学研究所